

第3回支部長会議

本部理事、各会会長、地区会長（引率も含む）

7月23日（土）24日（日）に

愛知県で「第3回支部長会議」

（会場）愛知県蒲郡市三谷町 1-76 サンヒルズ三河湾

旅立ち

NPO 法人（内閣府認証）全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）代表 池田 佳世
第 61 号 発行日 平成 23 年 7 月 3 日 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4
TEL 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 <http://www.khj-h.com>

九項目の支援要望書を提出

KHJ 親の会 「新体制発足」 内閣府、厚労省を訪問

6月9日、内閣府の梅澤敦参事官、厚労省社会援護局の寺尾徹総務課長に、池田代表、中垣内副代表および、井手、伊藤、田口、松本各支部長以下8名が訪問。その後、山本博司議員や櫻井議員秘書に面会した。

- ① 「ひきこもり枠」就労の設置など「ひきこもりに対する就労支援」事業の充実。
- ② 長期重篤者の生活機能障害に対する年金等福祉対応の充実。
- ③ アウトリーチ人材の育成・強化。
- ④ 家族会活動・居場所活動への国からの助成と官民協働の推進。
- ⑤ ひきこもり支援センターの全ての都道府県・政令市における設置充実。
- ⑥ ひきこもり医療に対する診療報酬の設定、「ひきこもり外来」など医療対応の推進。
- ⑦ 小中高生に対するメンタルヘルス教育などの心の健康政策の推進。
- ⑧ 「障害者制度改革推進会議」へ引きこもり親の会からの参加。
- ⑨ 長期重篤で生活機能に困難を有する者には既存の枠に囚われることなく柔軟に生存権の保障。



内閣府参事官補佐・鈴木和則氏に要望書を提出する池田佳世理事長他7名

「引きこもりの評価・支援に関するガイドライン」推進の要望書を持参し、支援の必要性を訴えた。

東日本、被災地からのメッセージ

KHJ 宮城県「タオ」の会のタオ短信第95号から、武田和浩さんの書かれた「一緒に……きつと」を紹介しします。武田さんは、ひきこもり支援に奔走されています。被災地の支部会をみんなで支えていきましょう。

3月11日、東日本に……。

大地震、慣れ親しんだ宮城の沿岸部は、壊滅的な被害を受けた。津波で、家も流されてしまった。車も、何もかも……それでも、生きてさえいれば、……それだけでいい「テレビに映し出された悲痛な家族の叫びに心が震えた。どうして、こんな事

も、生きてさえいれば、……それだけでいい「テレビに映し出された悲痛な家族の叫びに心が震えた。どうして、こんな事にも行つた。「死にたいとは思わない」と、言っていたのに……「……お兄ちゃん、どうして、……死んじゃったの！」3人の遺された子供たちは、「お父さん、やっ」と、楽になれましたか？」「家族みんなを、ずうっと、好きでいてください」……悲しみと、悔しさ、自責の念で、……胸が締め付けられた。



辛かったんだろう……楽になりたかったんだろう……それでも、生きて欲しかった。……酷だと思ふけど、「……生きてさえいれば、……きつと、……」もう一緒に、……笑う事も、泣くことも、何もできなくなっていました。

なくなつて分かった、存在の尊さ、有り難さ。……生きてさえいれば、……それだけでいい。互いの悲しみを、繋がる力に変えて、心の絆も育もう。……必要としてくれる人と、一緒に、きつと、……生きていけるような気がする。



「東海なでしこの会」

愛知県から 2000 万円の支援を受ける

国は「子ども・若者育成支援推進法」の施行(2010・4・1)を受けて「セフティネット支援対策事業実施要綱」の一部改正を行い、昨年11月26日、厚生労働省社会・援護局長名で各都道府県知事に「通知」しました。

主な改正点は、「ホームレス対策事業」を「ホームレス等貧困・困窮者の『絆』再生事業」に改め、「支援がなければ路上生活等に陥る恐れのある者」として「ひきこもり、ニートなど」を追加しました。

そして、「実施主体」は、「都道府県知事が適当と認めた団体」として、愛知県では、NPO法人なでしこの会(全国引きこもりKHJ親の会・東海)が認定され、4月から一年間の支援事業として2000万円が支給されました。

「なでしこの会」の事業計画

NPO法人なでしこの会は、竹中哲夫先生(日本福祉大学名誉教授)の助言・指導を受け、詳細な事業計画を

作成し愛知県に提出しました。その主な点は、これまで支援が行き届かなかった、長期・重篤の本人と家族に向けた訪問支援活動を最重点に、面接、ピア・カウンセリング、居場所社会参加、他機関連携に取り組みます。また、新たな活動拠点として家族と当事者が参加しやすい・交通に便利な熱田神宮近くにFSN(フレンズ・シップ・なでしこ)を5月末からオープンして活動しています。

「なでしこの会」の伊藤理事長の談話

なでしこの会の10年間の活動が評価されて嬉しい。10年前、ひきこもりは「親の育て方が悪い」「本人のなまけだ」と社会からもマスコミからも冷たい目で見られていました。3月に亡くなった奥山さんは不自由な体で、命がけで全国を駆け巡りKHJ親の会」を立ち上げられました。なでしこの会も奥山さんの援助で2001年8月に生まれ、この10年

なでしこの会の公的支援(実現)の取組

2011年4月17日月例会 理事長 進

- 2001年8月 なでしこの会設立
- 2002年5月 愛知県に支援要望(その後毎年要望)
- 2004年6月 日本福祉大学と合同企画、NPO法人設立総会。伊藤
- 2006年4月 アイ・メンタル・スクール事件、5月県に10項目要望、11月KHJ全国大会名古屋で開催(公的支援決める)
- 2007年2月 愛知県議会でもなでしこの会要望10項目満額回答
- 2007年4月 共同募金会から80万円の支援始まる(継続)
- 2007年4月 愛知県のひきこもり支援始まる
なでしこの会愛知県から60万円支援受ける(継続)
モリコロ資金から100万円の支援受ける
- 2007年~8年 なでしこの会、国に公的支援を求めて署名実施
独立行政法人から実態と調査で176万円
- 2009年7月「子ども・若者育成支援推進法」成立、10年4月施行
- 201011月 会は内閣府からチャイルドユースサポート章受章

間、公的支援を一貫して目指して来ました。(表参照)

2006年4月愛知県でのアイメンタルスクール事件を期に、5月、県に10項目の要請、11月KHJ全国大会を名古屋で開催、07年2月愛知県はなでしこの10項目に満額回答、それを期に共同募金、愛知県、モリコロ基金、独立行政法人から支援金を受ける。07年、08年、

国に公的支援を求める署名を実施、09年7月「子ども・若者育成支援推進法」が成立。

なでしこの会は、昨年11月、内閣府の「チャイルドユースサポート賞」を受賞、そして、これらの活動が評価されて、今回の2000万円の支援金支給になりました。嬉しい限りです。お金は国民の血税です。一円たりとも無駄なく、ひきこもりの家族と当

「大検」は「高卒認定」に進化!

ひきこもりでも自宅からウェブ学習で
1年以内に高卒資格が取得できます!

高認スーパーゲットコース

第一高等学院 www.daiichikoto.net

無料(通信料は自己負担)

引きこもり電話相談

☎ 03-5319-1430

火・木・土 PM1:00~5:00

第4土曜・祭日休み

KHJホットライン

事者の皆さんに有効に、役立つ支援の為に活用していきます。

社会不安障害総合情報サイト

SADとは“Social Anxiety Disorder”の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことです。

SAD NET

人前で話したり、食べたり、書いたりしようとすると、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。

- ・おおよそのSAD(社会不安障害)をチェック可
 - ・どこへ行けば治療して貰えるの?
- 全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。

社会不安障害の総合情報サイト

URL: <http://www.sad-net.jp/>



推薦のことは 精神科医・医学博士 中垣内正和

時代の狭間において、何とか活路を見出したいと願う方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。

ルポ「ひきこもり」

価格800円



URL: www.hikikomori-navi.com

ひきこもりサポートナビ

当会の共同主宰ひきこもりサポートナビ

第8回全国調査報告

第8回全国調査の目的は、引きこもりと発達障害の関連を明らかにすることでした。家族332名、引きこもり経験者82名の回答の結果をまとめております。報告書を各支部に郵送しておりますので、月例会等で回覧頂きますようお願い致します。

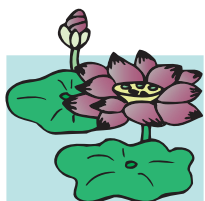
1、引きこもり本人の年齢、初発年齢、及び親の年齢(図1)

引きこもり本人の平均年齢は、本年度31・6歳となります。高年齢化が進んでいる実態が明らかになりました。当親の会において、30代を越えて引きこもり続ける方をどう支援するかが、最大の課題になっていると言えます。

高年齢化への対応として、福祉的支援が良く取りたされませんが、引きこもり本人に何故福祉的支援が必要なのかの根拠を示す必要があります。

2、引きこもりと発達(図2)

本調査から、引きこもり状態と広汎性発達障害の関連性が明らかにされました。最も高い割合を示す数値としては、男性の本人回答者の26・3%です。本調査で用いたAQ-J-16は自己記入式の質問紙であり、ある程度症状を自覚できている人には有効な質問紙であるといえますが、そうでな



た方への対応は、広汎性発達障害のない方との対応とは異なります。家族自身の理解はもとより、引きこもりご本人の障害受容も大きな課題となります。引きこもりという一つの現象として捉えるのではなく、引きこもり本人の背景に応じた適切な対応の重要性が改めて示されたと言える結果です。

家族関係の特徴として、望ましい行動を増やすことは出来るけれども、望ましくない行動を減らすことが出来ないという特徴が示されています。言うなれば、受容は出来るけれども律することが出来ない家族関係になっていると言ったことです。

3、引きこもりの家族関係

引きこもり支援において家族支援は中核をなすものであります。従って、引きこもり問題の解決において当然ながら、家族関係が極めて重要になるわけです。これまでの研究において、引きこもり状態にある人の

家族関係の背景には、引きこもり状態が長期化する中で起こる家族葛藤や親自身の疲弊、引きこもり本人の示す問題行動など様々な要因があると考えられます。家族支援においては、こうした機能不全に陥った家族関係を改善していくことが重要であることが、改めて示されたと言えます。

4、引きこもりと就労

就労は引きこもりから自立するためにまずは目指すべきものであると言えます。しかし、引きこもり本人の高年齢化や発達障害の存在が顕著になるにつれ、就労のみにこだわることに無理があるという現実も垣間見えてきました。一般企業への就労は困難でも、福祉的就労は引きこもりからの自立の有効な手段であると言えます。こうした就労を目指す上で関連する心理的要因として、体験の回避と自己効力感の存在が明らかにされま

した。これらの要因は、心理療法の一つである認知行動療法で変容可能な心理的要因であることが明らかにされています。今後は、就職活動の具体的な手段・方法のノウハウを獲得することによる自信の向上や、ネガティブな思考・感情に向き合うことへの認知行動療法を含めた心理的支援をとおして、引きこもりからの就労を促進する試みをもつと積極的に進めていく必要があると考えられます。

5、今後の課題

- ① 引きこもり状態に福祉的支援が必要である根拠を示す
- ② 引きこもり支援においては、引きこもり本人の背景に応じた支援を実施する
- ③ 家族機能の正常化を目指した心理的支援を構築する
- ④ 引きこもり本人の就労支援においては体験の回避や自己効力感の変容する認知行動療法を用いた心理的支援を構築する

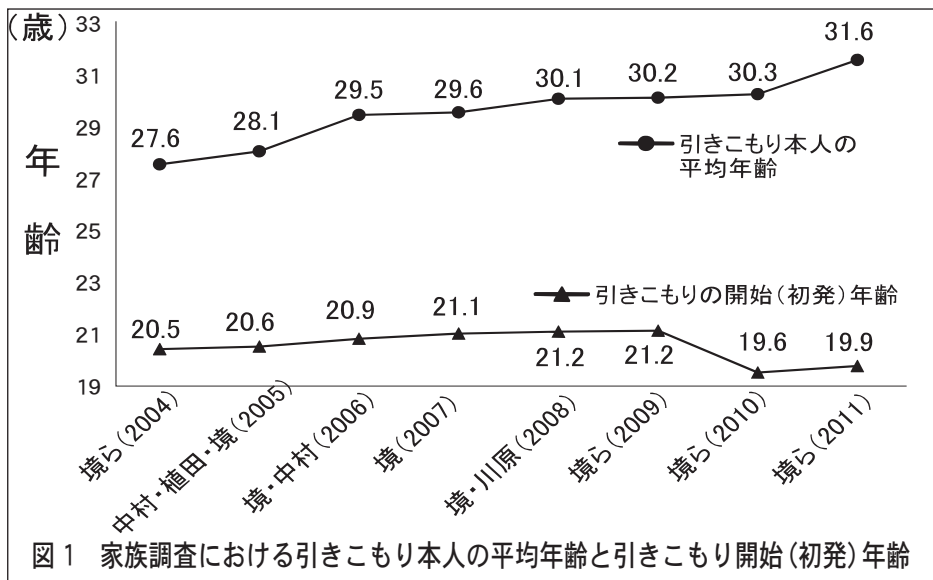


図1 家族調査における引きこもり本人の平均年齢と引きこもり開始(初発)年齢

不登校・ひきこもりの方も安心

インターネットで自宅学習で高校卒業。

ウィザス高校・ウィザスナビ高校の特長

- ◆一人ひとりに合った学習で確実に「高校卒業」
- ◆担任制による、親身でめめやかなサポート
- ◆インターネットの良さを活かして、学習面・メンタル面の不安を解消

ウィザス高等学校
WITUS HIGH SCHOOL
0120-130-530
<http://www.with-us.ed.jp>

ウィザスナビ高等学校
WITUS NAVI HIGH SCHOOL
0120-780-140
<http://www.withus-navi.ed.jp>

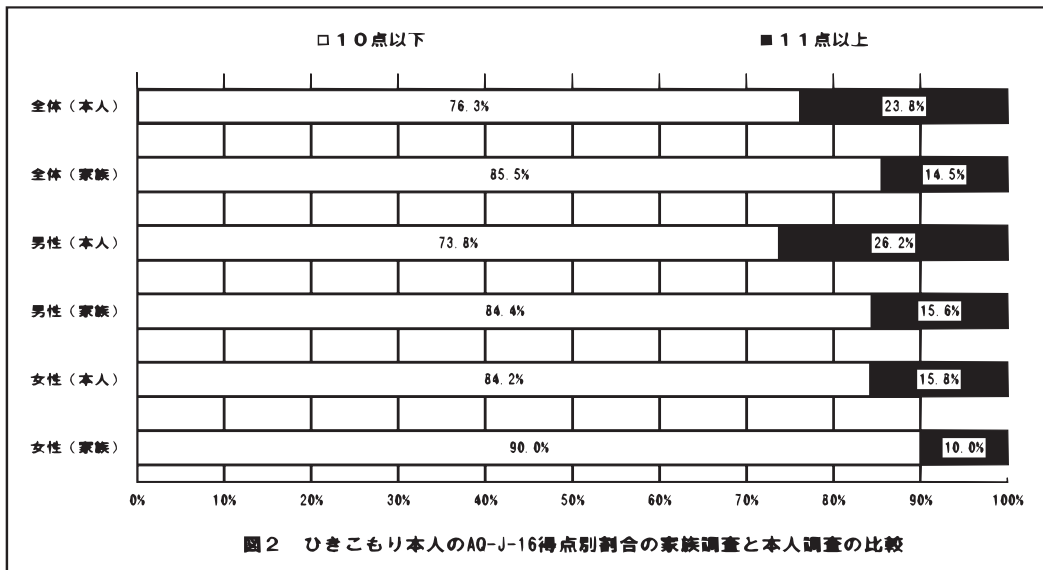


図2 ひきこもり本人のAQ-J-16得点別割合の家族調査と本人調査の比較

旅立ち新編集委員のご挨拶

全国の会員の皆様、我が子の回復のために、親は新しいことに挑戦していきましよう。

・その動きはひきこもった子に伝わり、子も動き出します。

・会報「旅立ち」は親や当事者の声をたくさん入れ、行政に訴えていきたいと思っています。

・これはひきこもりのためのものだけではなく、日本の若者の復活のためでもあるのです。

池田 佳世

（全引連親の会・代表）

親の会もいよいよステージ2です。基本的に奥山さんの遺言に基づき、会の副理事長と編集委員を担わせていただきます。

ひきこもりは戦後社会の限界の一つでしたが、原発震災後社会の到来は、親の会の先駆性を示すこととなりました。多忙ですが、何とか頑張りたいと思います。

中垣内 正和

（佐潟荘理事・副院長）

旅立ちの編集委員長をやらせていただくことになりました。

突然のことで、慣れないことなのですが、読んでいただく方に役立つ情報を発信していきたいと思っています。

皆様からのご意見も是非お寄せ下さい。

境 泉洋

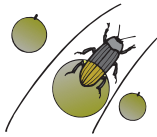
（徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授）

わたしは、井上ひさしさんの次の言葉が好きです、「むずかしいことをやさしく／やさしいことをふかく／ふかいことをゆかいに／ゆかいなことをまじめに書くこと」。

でも、若輩者の私に出来ようはずがありませんが、それを目指したいと思います。

伊藤 進

「東海なでしこの会」



全引連 KHJ 本部（全国）

主たる事務所：〒 170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4 SCS カウンセリング研究所内 ☎ 03-5944-5250 FAX03-5944-5290 携帯 080-1023-3857 池田 佳世
従たる事務所：〒 331-0805 埼玉県さいたま市北区盆栽町 190-3 NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会内 ☎ &FAX 048-651-7353 携帯 080-3176-6674 田口ゆりえ

月例会に参加して気を楽しみたい情報交換しませんか

NPO法人（内閣府認証）全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会）

☆親の会（月例会）問い合わせ先（2011年5月27日現在）

東北・北海道

○KHJ北海道「はまなす」	TEL・FAX 011-631-0981	吉田 勇
〒064-0824 札幌市中央区北四条西26丁目3-2	携帯090-3890-7048	
○NPO法人岩手県青少年自立支援センター「ボランの広場」家族会		泉 勝夫
〒020-0873 盛岡市松尾町19-8	TEL 019-605-8632 FAX 605-8633	
○KHJ青森県「アップルの会」	TEL/FAX 0178-88-5297	川村克彦
〒039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西5-9-1634 サンハウス内		
○秋田県「かだれ会」	TEL 0185-72-4133 FAX 0185-72-4134	長信田の森 心療クリニック
〒018-2303 秋田県山本郡山本町森丘字石倉沢1-2		
○NPO法人KHJ宮城県「タオ」	携帯 080-3193-6715	武田和浩
〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18	TEL 0228-58-4755 FAX 0228-58-4756	
○NPO法人山形県「から・ころセンター」		伊藤正俊
〒992-0026 米沢市東2-8-116	TEL/FAX 0238-21-6436	
○KHJ福島県「MHPC」		矢吹孝志
〒963-8813 郡山市芳賀2-21-10	TEL 024-943-1678 FAX 024-943-1686	

関東ブロック

○KHJ東東京「楽の会」		池田佳世
〒170-0002 豊島区巣鴨3-4-4	TEL 03-3918-0655 FAX 03-3918-7873	
○KHJ西東京「萌の会」	携帯090-8452-8810	井手宏
〒167-0051 杉並区荻窪1-19-4	TEL/FAX 03-5397-5372	
○NPO法人KHJ埼玉けやきの会家族会	携帯080-3176-6674 田口ゆりえ	
〒331-0805 さいたま市北区盆栽町190-3	TEL・FAX 048-651-7353	
○NPO法人KHJ千葉県の花会	TEL 090-8491-0971	藤江幹子
〒260-0042 千葉市中央区椿森1-2-2志村荘201		
○KHJ神奈川県「虹の会」	携帯080-2107-1171	安田賢二
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 12階ボランティアセンター気付No.②		
○NPO法人KHJ栃木県「ペリー会」	TEL 090-1846-4004	齋藤三枝子
〒329-1105 宇都宮市中岡本町4077	FAX 028-673-2518	
○いばらきKHJ「白梅の会」	携帯090-5416-3443	菊地芳明
〒300-2742 常総市向石939-21 (for you教育相談室内)	TEL/FAX 0297-42-7751	
○グルーボコスモス	TEL/FAX 03-3728-4488	瓜生 武
〒145-0066 東京都大田区南雪谷2-11-5	携帯080-3255-4361	

東海ブロック

○KHJ静岡県「いっぽく会」	TEL・FAX 054-245-0766	上杉博美
〒420-0884 静岡市葵区大岩本町25-2	携帯090-5036-2552	
○NPO法人なでしこの会	TEL・FAX 052-222-7045	伊藤 進
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-7-2桜華会館内	携帯090-8185-6597	
○NPO法人名古屋オレンジの会	TEL・FAX052-459-5116	鈴木美登里
〒453-0015 名古屋市中村区椿町19-7	サンマンション椿町304	

北陸ブロック

○NPO法人KHJにいがた「秋桜の会」	TEL/FAX 025-382-6912	三膳克弥
〒950-0167 新潟市江南区五月町1-2-9	携帯090-4017-2889	
○KHJ北陸会	TEL/FAX 076-275-6481	
〒924-0024 石川県白山市北安田町1381	携帯090-8092-1097	事務局
○とやま大地の会	TEL 090-3768-1733・FAX 076-429-5886	
〒939-2455 富山市八尾町大玉生秋「野良里」内		井波純子

本部 連絡先

○NPO法人 全国引きこもりKHJ親の会	池田佳世
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4	TEL 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290

近畿ブロック

○NPO法人 京都オレンジの会	TEL/FAX075-752-0289	稲垣 緑
〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東分木町74-3東山三条ライフステーション		
○NPO法人グッドハート	TEL 080-3777-2360	加藤日典子
〒525-0034 滋賀県草津市草津2丁目5-12-402	FAX 077-567-7760	
○NPO法人大阪虹の会	TEL 072-265-7803	原 治子
〒592-0011 高石市加茂1-20-2 グリーンモルタかいし1F	FAX 072-265-2021	
○NPO法人KHJ「つばさの会大阪」	TEL/FAX072-844-2423	大塚 洋
〒573-0027 枚方市大垣内町1-3-1マインドビル4 F	携帯090-4308-4259	
○NPO法人神戸オレンジの会	TEL078-515-8060	松井勝也
〒652-0805 兵庫県神戸市兵庫区羽坂通4-2-22		
○情報センターふきのとう姫路	携帯090-5046-7134	櫛橋行雄
〒670-0896 兵庫県姫路市上大野1-11-6	TEL/FAX079-224-5259	
○NPO法人情報センターISIS大阪	TEL 072-844-0399	岡村 勝
〒573-0061 枚方市伊加賀寿町1-1パークロード有馬201号		

中国ブロック

○NPO法人KHJ岡山きびの会	TEL/FAX086-264-5183	萩尾寛江
〒700-0944 岡山市南区泉田56-5	携帯090-2095-6347	
○KHJ広島もみじの会	TEL/FAX082-924-2922	岡本 弘
〒731-5137 広島市佐伯区美の里2-1-39-801	携帯090-7375-6659	
○KHJ山口県「きらら会」	TEL/FAX0836-88-2681	小林 攻
〒756-0862 山陽小野田市須恵西2471-1		

四国ブロック

○NPO法人KHJ香川県オリーブの会	携帯090-4332-3288	川井富枝
〒761-0104 高松市高松町2574-9	TEL・FAX087-843-9877	
○KHJ徳島県「つばめの会」	TEL/FAX0883-24-0507	高橋浩爾
〒776-0014 吉野川市鴨島町知恵島372-6	携帯090-7620-4625	
○KHJ高知県親の会「やいろ鳥」の会		竹中あおい
〒781-5205 香南市野市町みどり野東1-33	TEL・FAX0887-55-1255	
○KHJ愛媛県こまどりの会	携帯090-8972-4587	渡部浩二
〒791-0216 東温市野田2-10-35	TEL・FAX089-964-4558	

九州・沖縄

○KHJ福岡県「橘の会」	TEL092-731-3091	吉村文恵
〒810-0003 福岡市中央区春吉1-7-18 ｸｹﾞﾋﾞﾙ1F	携帯090-8222-7403	
○KHJ熊本県「橘の会」	TEL096-322-3548	武井敬蔵
〒860-0072 熊本市花園7-2435-12	FAX096-322-3787	
○KHJみやざき「橘の会」	TEL/FAX0985-53-2666	植田美紀子
〒880-0944 宮崎市江南4-9-9	植田方 携帯090-9603-8780	
○KHJ鹿児島県「橘の会」	TEL/FAX0993-38-0320	福留順一
〒891-0704 南九州市頤娃町別府1243	自宅TEL0993-38-1421	
○NPO法人KHJ大分県「大分ステップの会」		松本太郎
〒879-5102 由布市湯布院町川上3604-14	TEL090-1163-8582	
○サポートセンターゆめさき		上江田紫寿江
〒904-2171 沖縄県沖縄市高原7-34-29	TEL098-930-1150	